

インフルエンザ(2026年第2週)疫学情報 《コメント》

2026年第2週の定点当たり報告数は10.54(患者報告数39,996)となり、前週の定点当たり報告数10.35よりも増加した。都道府県別では宮崎県(31.32)、鹿児島県(23.51)、高知県(20.29)、沖縄県(18.11)、愛媛県(17.86)、長崎県(16.59)、福岡県(16.41)、佐賀県(15.58)、大分県(15.12)の順となった。全国47都道府県中、23都道府県では前週の報告数よりも増加し、24都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は1,081例であり、前週(1,009例)から増加した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(46例)、1~4歳(88例)、5~9歳(54例)、10代(42例)、20代(36例)、30代(24例)、40代(18例)、50代(61例)、60代(87例)、70代(174例)、80歳以上(451例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第50週～2026年第2週)では、AH3亜型が331件(93%)、B型が22件(6%)、AH1pdm09が4件(1%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。